

■ 展示資料紹介(1)



「福井市中央部の第一弾（本町通りの松下薬局）」

焼夷弾が着弾し、火災が発生したようです。

松下薬局は、大名町交差点から西へ向かう本町通りに位置しています。



「福井県庁」

福井城跡に所在する福井県庁（旧庁舎）の火災の様子です。窓から炎が噴き出しています。鉄筋コンクリート3階建ての建物の屋根を焼夷弾が貫通し、2階にあったフィルムに引火して火災が発生したという証言があります。

■ 展示資料紹介(2)



「福井駅前の救護所」

福井駅前に設けられた「福井県臨時救護所」のようすです。木の机の上にはガーゼや消毒薬らしきビンが見えます。手前の背負われた幼児の両脚に包帯が巻かれています。



「足羽山上に落された焼夷弾」

焼夷弾(子弹)の殻(から)です。

日本への本土空襲では筒状の焼夷弾を束ねて投下し(束ねたものを「親弾」と呼びます)、一定の高度で束を外してばらまきました。地面にまっすぐに突き刺さったようすも見とれます。